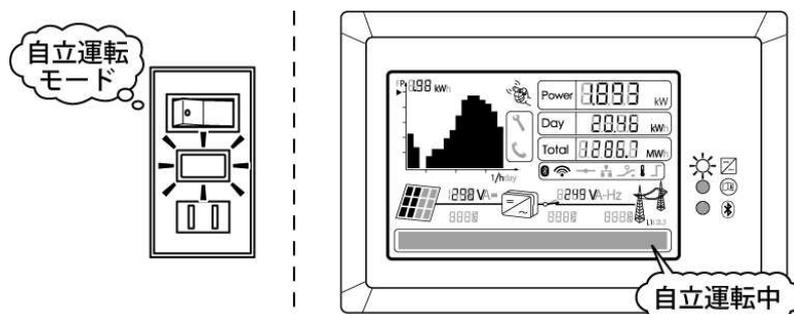


2-3 連系運転モードから自立運転モードへの切替方法(停電時)

自立運転とは、停電などにより電力会社から電力が供給停止された場合、太陽電池が発電した電力を AC100V で最大 15A(専用口の合計が 1.5kVA)供給します。

- ①太陽光発電用ブレーカを [OFF] にしてください。
- ②運転モード切替スイッチを自立運転モードにしてください。

グラフィックディスプレイのシステム概要部にて入力電圧が一定量(起動時110V、運転開始後85V)以上の表示があれば、太陽電池はパワーコンディショナが動作する電力を発電しています。LED インジケータの緑が点滅状態で、“自立運転中”のメッセージが表示されます。



※スイッチやランプの形状は異なる場合があります。

- ③自立運転コンセントランプを確認してください。

ランプが点灯していれば、自立運転コンセントを使用できます。



※スイッチやランプの形状は異なる場合があります。

- 運転モード切替スイッチを自立運転モードにしても、“自立運転中”のメッセージが表示されない、自立運転コンセントのランプが点灯しない場合は、太陽光発電用ブレーカが [OFF] になっていることを確認して、再度、運転モード切替スイッチを連系運転モード→自立運転モードへ操作して下さい。

⚠ 警告

停電用コンセントから供給する電圧は、太陽の光が弱くなると必ず低下します。接続に際しては突然停止しても安全性に問題がない機器であることを確認してください。

次の機器を停電用コンセントに接続しないでください。

- ・すべての医療機器、灯油やガスを用いる冷暖房機器
- ・パソコン、ワープロなどの情報機器
- ・その他、途中で止まると生命や財産に損害を及ぼす機器

停電用コンセントの電圧出力が停止し、人身傷害や接続した機器に機能障害が稀に起こる恐れがあります。



自立運転する前に必ず太陽光発電ブレーカを OFF してください。万が一の場合、感電による障害や火災が起こる恐れがあります。



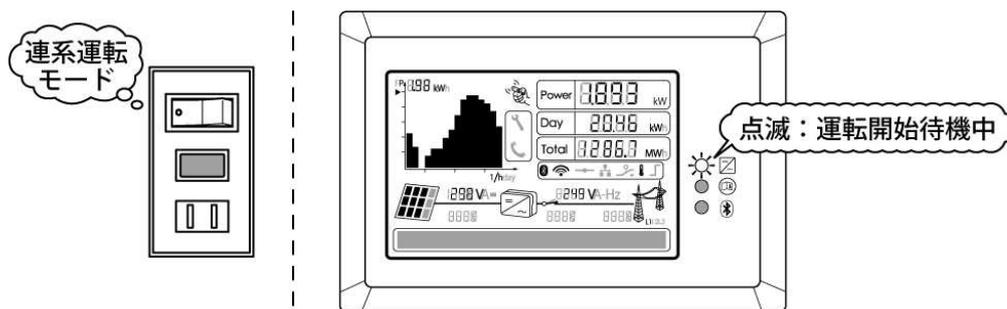
重要

- (1) 太陽電池が発電していないときは、自立運転モードで運転できません。
- (2) 停電用コンセントに使用したい機器を接続してください。
また、接続する機器の最大電力は 1.5kVA 以内(AC100V 最大 15A 以内)になるようにしてください。
- (3) 掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用しないでください。

2-4 自立運転モードから連系運転モードへの切替方法(復電時)

- ① 運転モード切替スイッチを連系運転モードにしてください。

グラフィックディスプレイのシステム概要部にて入力電圧が一定量(起動時110V、運転開始後85V)以上の表示があれば、太陽電池はパワーコンディショナが動作する電力を発電しています。LED インジケータの緑が点滅していれば、運転開始待機中(初期値300秒)です。



※スイッチやランプの形状は異なる場合があります。

- ② 太陽光発電用ブレーカを [ON] にしてください。

運転開始待機時間(初期値300秒)を経過後、連系運転へ切り替わります。